

2012年2月21日

第1回観光立国 学生懸賞論文コンテスト  
総評と受賞コメント

1) 総評～中村 裕 審査委員長

学生諸君の観光に対する期待、関心の高さに大いに感銘を受けました。今後の観光産業の促進、観光資源の確保に対する示唆も的確で、参考になりました。今後実際に取り組むべき課題ばかりで、さらなる学生諸君の研究に期待したいと思っています。

当コンテストは、来年以降も開催を予定しております。来年度もより多くの学生諸君の応募を切に希望しております。

受賞のみなさん、おめでとうございます。

2) 最優秀賞～明治大学 政治経済学部 新田功ゼミナールBチーム 落合良さん計5名

この度は最優秀賞という、非常に素晴らしい賞を頂きまして、大変光栄に思います。とくに、神田神保町という大学に所縁ある地域について書いた論文で受賞できたのは、とても嬉しく思います。今回の懸賞論文を通じて、ナショナルトラストの役割について様々な視点から考えることができました。私たちの提案はナショナルトラストの可能性の一つであり、各地域のナショナルトラスト活動が今後とも発展されること願っています。私たちはこれから社会人として別々の道を歩むこととなりますが、各々のやり方で日本の観光産業に少しでも貢献できるように頑張りたいです。最後になりましたが、論文作成にあたりご協力頂いた多くの方に感謝いたします。本当にありがとうございました。

3) 優秀賞1～立教大学 観光学部 交流文化学科 福嶋 礼依子さん

この度、栄誉ある賞を賜りましたことを大変誇りに、また嬉しく存じます。論文を通し、日本の観光における諸問題と展望について熟考する機会を与えてくださった日本ホテル教育センター、ならびに日本ナショナルトラストの関係者の皆様に深く感謝いたします。

本論文の執筆にあたりましては、指導教官である村上和夫教授をはじめとする立教大学観光学部の諸先生より厳しくも温かいご指導をいただき、また、調査の際に全面的な協力をいただいた兵庫県朝来市の皆様に、大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。



私は、今秋より、欧州大学院へ進学を予定しております。今回の受賞により、海外での研究生生活に対するさらなる希望と勇気をいただきました。今後は社会に貢献できる研究者を目指し、邁進してまいります。

4) 優秀賞2～東京YMCA国際ホテル専門学校 ホテル実務科 金ハンソルさん

このたび、このような素晴らしい賞を頂、光栄の極みでございます。主催者の財団法人日本ホテル教育センターの方々、この一年間私を支えてくださった担任望月教務、そしてなにより貴重なアドバイスをくださり、私が迷った時は背中を押してくださった近藤先生に感謝しております。

私はこの論文に書いたことを、論文で終わらず、これから日本のホテル現場で活かしたいと思います。将来には韓日ともに世界観光大国になれるように頑張ります。

以 上